

現代社会を生き抜く タフな若者を育てるために。

グ

ローバル化が加速する現代は、あらゆることが目まぐるしく変化する時代です。情報が一瞬のうちに世界中を駆け巡り、世界のどこかで何かが起きるやいなや自分の生活も一変し、産業や業界の盛衰もかつてないほどその激しさを増しています。一方、日本社会では、高齢化と人口減が進行して、社会として成熟していくなかで、その活力を維持していくことの重要性が謳われています。

こ

のような現代社会では、仕事が高度化・複雑化するにつれて、自ら課題を発見し解決すること、チームで取り組み成果を出すことが、求められるようになってきました。かつて一般的であった「前例に従って」、「言われたとおりに」、「一人でこつこつ」行うことで成果が得られる仕事は限られた世界のことと言えるでしょう。

教

育現場も、このような動きに対応して、与えられた問いに答える受動的な学びから、自ら問いをたて自ら答えを求める能動的な学びへと大きく変わりつつあります。教えられたことを忠実に覚え、類題に答えるのではなく、問いそのものを見だし、他の人と共有し・表現し・議論することを通して、いろいろな見方・考え方に触れることで、問いを解決し、さらに次の問いを見いだす。このような社会と直結する能力は、中高生の段階から鍛える方が効果的です。

高校、大学、そして社会をタフに生き抜くために必要なものは何か。本格的な受験勉強に突入する前に、それを知り、身につけることで、これからのさらなる飛躍につながれば幸いです。